

採用企画「笑顔で結ぶアニマルセラピーへの取組み

～地域総合型スポーツクラブへの第一歩～(代表者 三山 一)

企画内容

不登校傾向にある中学生を対象とした馬術教室「馬とふれあい教室」を実施し、アニマルセラピーへの取組みを行う。また、このような活動を通し、少しでも活動の幅を広げ地域総合型スポーツクラブへの第一歩とする。

活動結果

開催日時：9月16日、19日、20日 10月7日

場 所：京都産業大学総合グラウンド内馬場

参加人数：9月16日 16人

19日 19人

20日 20人

10月7日 20人

実施内容：

9月16日 1回目の実施

13:20 ふれあいの杜を出発

13:50 馬場到着

14:00 開始。部員代表、堀田監督、宮野技術顧問の挨拶、及び説明。

まず、各班に分かれ、班で部員と生徒の自己紹介。詳しく、馬の癖、馬体名所、危険事項などを説明。馬匹ミルクディッパー、シェアト、セレリス、リンクス、ミルファクを使用。普段授業などで使う比較のおとなしい馬を使用した。

説明をしながら馬装。

15:00 騎乗。ふれあいの杜の生徒が乗り、部員2人で曳いた。

15:30 曳き馬終了。部員と一緒に馬の手入れ。

15:50 手入れ終了。

16:00 バスに乗りふれあいの杜へ

9月21日 2回目の実施

1回目と同様

9月24日 3回目の実施

12:20 ふれあいの杜を出発

12:50 馬場到着

13:00 開始。各班に分かれて騎乗。

14:00 騎乗終了。手入れの後、部員と生徒の交流をはかるため、バーベキューを実施。

15:40 バーベキュー終了

16:00 バスに乗りふれあいの杜へ

10月7日 4回目の実施

1回目、2回目と同様騎乗。ジムカーナの実施。

15:30 騎乗終了。馬の手入れ。

最後に部員、生徒が対面し整列、挨拶をして終了。

16:00 バスに乗りふれあいの杜へ

感想

今回の趣旨は、3つのコンセプトで実施しました。それは、1.馬とふれあい、生き物の暖かさを感じて心を癒す、2.「相手の気持ちを汲み取って行動することで、相手もそれに応えてくれる。」ということを経験して学んでもらう、3.「自分が必要とされている。」事を感じてもらおうという3つです。

今回の馬とのふれ合い教室は昨年に引き続き、2回目的のものでした。前回と比較して一番の違いは生徒が人とのふれ合いに対して不得意であったことがあげられます。そのため、馬に乗ることも消極的で上達率が低かったことです。しかし、回数を重ねるにしたがって、生徒たちが明るくなっていくのが手に取るようになりました。

今回は人とのふれ合いにも力を入れました。3回目にはバーベキューをして普段の私生活の話をしたりして、お互いに交流することができました。

最後の日には全ての生徒が一人で馬に乗ることができるようになりました。今回も学生と馬と生徒たちみんなが仲良くうちとけ楽しくふれ合い教室を進めることができました。それだけでも今回はコンセプトを達成できたと考えます。

そして今回一番よかったことは来てくれた生徒の中で学校に行けるようになったことです。その生徒はこの馬とのふれあい体験を通し、やろうと思えば何でもできると感じ、何事にもチャレンジするという心が生まれたのだと思っています。

生徒たちとのふれあいの中で相手のことを思いながら人と接することの難しさと、そのことの重要性を改めて考えさせられる活動だったと思います。そしてこの活動を通して自分自身も成長することができたと思います。

この活動を今後は京都市教育委員会などと協力をして続けて生きたいと考えています。